

事業実績書

団体名	おごおり地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「出会い」「つながり」共に支え合うまちづくり ～心つながる笑顔と幸せあふれるまち～

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	新山口駅周辺や拠点施設を活用した魅力ある交流の場の創生		
	事業名	しんやま楽市楽座の開設	決算額	157,104
②	視点	若者と共に作るまちづくり		
	事業名	ペットボトルツリーを作ろう	決算額	707,403
③	視点	美しい、住みよいまちづくり		
	事業名	SDGsの推進	決算額	879,924

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
第3次地域づくり計画に沿って新山口駅を活用して楽市楽座を開催したが、コロナ禍の中であり3回予定していたが2回中止した。認知度が低く、思った以上の集客がなかった。しっかり精査して次年度につなげていく。	○
イルミネーション事業と共同で、各学校・PTAや企業と共に、ペットボトルツリーを制作して飾ることにより益々地域のつながりを深めることが出来た。次年度は協賛企業を増やしていく。	◎
小学校や企業と連携してごみのないまちづくりを進めた。また、小郡中学校へSDGsの出前講座を行い、子供たちと一緒に持続可能な開発目標を学習した。成果物としてSDGsかるたが出来上がり、教育委員会を經由して小郡地区の小学校と市内の中学校に配布した。次年度以降も継続していく。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第3次地域づくり計画初年度であるが、コロナ禍により総会等は書面議決とし、役員改選も先延ばしとなった。
 コロナ感染拡大防止を行いながらの活動は、人数制限や貸し館利用の中止など厳しい状況ではあったが、出来ることと出来ないことをしっかり見極め、行政や地域内の各団体等と連携協力して地域課題解決を行った。
 今後、新しい生活様式の中で住民意見を反映し、知恵を絞りながら出来ることから行政や他団体と協働で地域振興の推進、環境美化啓発、安心・安全に健康で豊かに暮らせる環境づくりなど、小郡に住み続けたいと思えるまちづくりを進めていく。

5 事業内容

(1) 協議会運営

	協議会運営費
運営費	5,519,331円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名、事務員3名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 責任と役割分担を明確にして協議会事務局運営に取り組んだ。 (今後に向けて) 透明化を図り、現状維持で事務局運営をスムーズに行う。

(2) 地域振興

事業名	「SLのまち」の推進
事業費	88,500円
事業概要	(実施内容) SLやまぐち号運行のPR活動やDLやまぐち号のおもてなしをソーシャルディスタンスに配慮して沿線で行った。 (実施時期) 夏～秋 (参加人数) 50名 (成果) 山口の、観光集客の誘致に寄与できた。 (評価) コロナ感染が収束しないため、多くの人を集めることが難しい。 (今後に向けて) 今後もSLやまぐち号を観光客を呼び寄せる地域資源として取り組む。

事業名	若者とともにつくるまちづくり
事業費	707,403円
事業概要	(実施内容) ものづくりワークショップ、ペットボトルツリーを作ろう ほか (実施時期) 秋 (参加人数) 300名 (成果) 子どもと子育て世代が共に作るまちづくりの仕組み作りが出来た。 (評価) 若者が活躍できる地域づくりの仕組みにより多くの若者が参画できた。 (今後に向けて) 若者が中心となってまちづくりを進められる形にしていく。

事業名	楽市楽座の開設
事業費	157,104円
事業概要	(実施内容) しんやま楽市楽座 等 (実施時期) コロナ感染拡大のため2回中止し、11月1回のみ (参加人数) 200名 (成果) 新山口駅北口駅前広場や拠点施設を活用した集客事業の基礎を作った。 (評価) イベントはコロナ禍により、左右されるので検討する必要がある。 (今後に向けて) 継続し、観光誘客につなげる。

(3) 地域福祉

事業名	健康づくり、体力づくりの推進
事業費	447, 222円
事業概要	(実施内容) 夏休みラジオ体操、健康講演会など (実施時期) 夏、冬 (参加人数) 400名 (成果) 毎年恒例のラジオ体操は多世代交流にもつながり、子どもから高齢者が交流しながら健康増進に繋がった。健康講演会ではコロナ禍でも人と人とのつながり、地域のつながりの大切さを学んだ。 (評価) 市民が健康で生き活きと暮らせるまちづくりの一助となった。 (今後に向けて) 継続して健康寿命を延伸するために啓発推進していく。

事業名	困ったときにお互いが助け合えるまちづくり
事業費	120, 000円
事業概要	(実施内容) 新型コロナウイルス対策、あいさつ運動 ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 500名 (成果) 新型コロナウイルス感染拡大防止の啓発推進とあいさつの大切さを学んだ。 (評価) 地域内感染の予防を行い、お互いさまの助け合い精神ができた。 (今後に向けて) 継続して、健康なまちづくりを進める。

事業名	子育て世代の交流の場づくり
事業費	190, 000円
事業概要	(実施内容) 子どもの健康づくり、子育て世代の交流支援事業 ほか (実施時期) 冬 (参加人数) 50名 (成果) 子どもと子育て世代が地域間交流を図りながら、健康づくりを行った。 (評価) コロナ感染拡大防止を行ない、地域間交流、世代間交流の場が出来た。 (今後に向けて) 感染予防を強化して継続し、発展させる。

(4)安心・安全

事業名	地域防災力の向上と防災減災活動の推進
事業費	835,883円
事業概要	(実施内容) 防災出前講座、防火チラシ、防災視察研修、自主防災組織の支援事業 ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 150名 (成果) 自治会やPTA等との連携で防災意識の啓発が出来た。 (評価) コロナ禍における防災について学んだ。 (今後に向けて) コロナ禍の中でも有事の際に、対応できるよう継続する。

事業名	交通安全意識の啓発
事業費	53,000円
事業概要	(実施内容) 交通安全協会と共催で交通安全のぼりで啓発推進 ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 60名 (成果) 交通安全のぼりや事故防止の啓発チラシで交通事故減少につながった。 (評価) 交通安全の意識啓発、推進ができた。 (今後に向けて) 交通安全意識の啓発を継続する。

事業名	犯罪のないまちづくり
事業費	80,000円
事業概要	(実施内容) 防犯対策協議会と連携し、特殊詐欺などの防止啓発を行った。 (実施時期) 年間通して (参加人数) 60名 (成果) 振込詐欺などの周知で防犯啓発につながったと思う。 (評価) 啓発しても、詐欺被害が減少しない。 (今後に向けて) 詐欺被害に遭わないための意識啓発はまだまだ必要。

(5)環境づくり

事業名	美しい、住みよいまちづくり
事業費	879,924円
事業概要	(実施内容) 清掃ウォーキング、ごみゼロゼロ作戦、SDGsの推進 ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 300名 (成果) 学校や地域と共催で、清掃活動。SDGsを広く周知した。 (評価) 学校との協働でSDGsの啓発が出来た。 (今後に向けて) 継続して市や学校関係と協働で環境美化を進める。

事業名	親子でふれあえる公園づくり
事業費	78,000円
事業概要	(実施内容) 公園の整備事業の補助、桂ヶ谷の環境整備 ほか (実施時期) 通年 (参加人数) 100名 (成果) 桂が谷堰堤散策路の整備や公園整備の補助や花いっぱい事業の支援等で住みよいまちづくりが進んでいる。 (評価) 単位自治会や他団体と協働で課題解決を推進した。 (今後に向けて) 住み続けたいと思えるまちづくりを進める。

(6) 地域個性創出

事業名	小郡ブランドをつくる
事業費	644,000円
事業概要	(実施内容) 新山口イルミネーション ほか (実施時期) 11月～12月 (参加人数) 500名 (成果) 新山口駅北口広場と拠点施設を繋ぎ、観光誘客に寄与した。 (評価) 山口ゆめ回廊博覧会とのコラボで協働事業が有意義なものとなった。 (今後に向けて) 新山口を中心に地域振興を継続して推進する。

事業名	多様な地域資源の発掘
事業費	1,575,363円
事業概要	(実施内容) オゴオリザクラまつり、新山口ゆめフェスタ、5元号マップ ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 300名 (成果) 小郡の資源を活用した新事業も立上げた。 (評価) 地域資源を活用して地域の活性化に繋がった。 (今後に向けて) 成果物を活用し新事業を推進する。

事業名	賑わい創出に向けた意見集約と情報発信
事業費	1,739,805円
事業概要	(実施内容) 情報紙おごおりの編集発行、HP運営 ほか (実施時期) 年間通して (参加人数) 50名 (成果) 情報紙やHPで地域の情報共有を図った。 (評価) 住み続けたいと思えるまちの情報発信に寄与した。 (今後に向けて) 継続し、情報共有で地域力アップにつなげる。